

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切にし、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
1 市民のニーズに応える蔵書構築を目指します									
		1 資料の充実	継続	<p>・市民のニーズに合った資料を収集し、貸出冊数を増加させる。</p> <p>[指標] 図書貸出冊数(わかたけ図書館は除く)</p> <p>[目標値] 前年度と同程度</p> <p>[予算] 図書購入費 16,800,000円</p> <p>[参考] 平成25年度[図書貸出冊数] 565,564冊</p> <p>[予算] 16,298,000円</p> <p>[決算] 16,295,401円</p> <p>※平成25年度人口一人当たりの受入冊数 0.26冊</p>	数値	<p>[図書貸出冊数(わかたけ図書館は除く)] 569,523冊</p> <p>[決算] 図書購入費 16,792,790円</p> <p>【目標達成率】100.7%</p> <p>※平成26年度人口一人当たりの受入冊数 0.26冊</p>	A		<p>「資料の充実」については、指標を「図書貸出冊数」としていますので、目標は達成しています。図書購入費も十分に執行されています。また、わかたけ図書館の「課題解決型コーナー(暮らしのサポートコーナー)」の準備も年度内に行うことができました。今後は、同コーナーの資料の充実とPRを図っていく必要があります。</p>
		2 各図書館の機能分担の明確化	継続	<p>・わかたけ図書館に「課題解決型コーナー」の設置準備を行う。</p> <p>[参考] 平成25年度わかざり図書館はリニューアルオープン時に課題解決型コーナー(セルフケアコーナー)を設置した。</p>	記述	<p>平成27年4月わかたけ図書館リニューアルオープン時に開設する課題解決型コーナー(暮らしのサポートコーナー)の準備のため、「備える」52冊、「育む」45冊、「エコライフ」20冊、「住まい」26冊、「暮らし」65冊の5つのテーマに沿って、合計 208冊を揃え、コーナー見出しの整備等を行った。</p>	A	A	<p>【意見】この目標は「市民ニーズに応える蔵書構築」ですから、図書館の蔵書をいかに充実させていくかを事業目標にすべきところですが、資料の充実のためには市民ニーズの把握に努めるとともに、収集方針に基づき、図書選定の機能を十分に果たすことが重要です。そのためには、選定会議の設置が求められます。</p> <p>目標値を「前年度と同程度」に設定していますが、より積極的な目標とするように求めます。なお、実質的利用者数(事業年度内に1回以上の利用者)を指標に加えることによって、「潜在する要望」を図書館へ引きつけたかが把握できると考えます。</p>

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
2 各世代の成長過程に配慮したサービスを行います									
	1	乳幼児サービスの充実	継続	<p>・乳児に絵本を手渡す活動「赤ちゃんはじめての絵本事業」や「パパママクラス」など関係機関との連携事業を継続する。</p> <p>[指標] 乳幼児サービスの実施回数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度 (保健センター) 20回</p> <p>すくすくベビークラス(年2回)、赤ちゃんはじめての絵本事業(月1回)、パパママクラス赤ちゃん絵本の紹介(年6回) (市政出前講座) 1回 扶桑会館(年1回) (出前おはなし会) 12回 子ども家庭支援センターおはなし会(年12回)</p>	数値	<p>[乳幼児サービスの実施回数] (保健センター) 21回 すくすくベビークラス(年3回)、赤ちゃんはじめての絵本事業(月1回)、パパママクラス赤ちゃん絵本の紹介(年6回) 【目標達成率】105% (市政出前講座) 1回 扶桑会館(年1回) 【目標達成率】100% (出前おはなし会) 12回 子ども家庭支援センターおはなし会(年12回) 【目標達成率】100% <図書館コメント> すくすくベビークラスの実施回数が増加した。</p>	A	<p>乳幼児サービスについて、関係機関と連携をはかり、各種の事業を行ってきました。指標に基づく目標値は達成できています。児童サービスについて、市内小学生の登録率は経年変化を見ると漸減(平成17年度:75.4%から平成26年度:55.5%)しています。子ども読書活動推進計画が実施されている中で、由々しい状況です。青少年サービスについて、福生高校でのブックトークを2回行い、目標達成率を133.3%に上げることができました。今後福生一中、二中への取組が必要です。高齢者サービスについて、大活字本の貸出冊数に対する目標値はほぼ達成されています。</p> <p>【意見】乳幼児サービスについては、乳児サービスと幼児サービスに分けて目標値を設定し、記述もそのようにすると分かりやすくなります。また、評価のためには、おはなし会・ブックトーク等の実施回数に併せて参加者数も記載する必要があります。大活字本も所蔵冊数を併せて記述することを求めます。高齢者サービスでは、大活字本の存在を図書館外へPRする等の工夫が必要と考えます。成人サービスについての項目がないことが気になります。</p>	
	2	児童サービスの充実	継続	<p>・夏休み読書推進イベントのスタンプカードなど児童に読書の楽しさを伝える各種イベントを開催し、児童の利用回数を高める。</p> <p>[指標] 市内小学生の登録率 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度 64.2% (登録小学生数 1,631人 全児童数 2,542人)</p>	数値	<p>[市内小学生の登録率] 55.5%(登録小学生数 1,375人 全児童数 2,476人) 【目標達成率】86.4% <図書館コメント> わかたけ図書館の9ヶ月休館による影響と、学校司書の配置による学校図書館の充実により減少した可能性がある。</p>	B		
	3	青少年(ヤングアダルト)サービスの充実	拡充	<p>・学校において読書の啓蒙活動を行う。</p> <p>[指標] ブックトークの実施回数 [目標値] 3回 [参考] 平成25年度 2回(多摩工業高校、福生第三中学校)</p>	数値	<p>[ブックトークの実施回数] 4回実施(福生高校 2回、多摩工業高校、福生第三中学校) 【目標達成率】133.3% <図書館コメント> 福生高校での実施回数が増加した。</p>	A		
	4	高齢者サービスの充実	拡充	<p>・大活字本の貸出冊数を増加させる。</p> <p>[指標] 大活字本の貸出冊数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度 506冊</p>	数値	<p>[大活字本の貸出冊数] 501冊 【目標達成率】99.0% <図書館コメント> 年度末に127冊寄贈があり、平成27年度受入予定である。</p>	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 ー:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
3 視聴覚資料の充実を図ります									
		1 聴覚資料の充実	拡充	<ul style="list-style-type: none"> CD貸出可能点数を1点から2点に増やす。 [指標] CDの貸出可能点数 [目標値] 2点	数値	[CDの貸出可能点数] 1点から2点に変更 【目標達成率】100% <図書館コメント> 変更により貸出数が20,033点から26,529点になり、32.4%増加した。	A		聴覚資料について、CD貸出可能点数を2点に変更することができ、目標は達成しました。その結果、貸出数が32.4%増加したことは注目すべきことで、市民利用者の望んでいたことだと理解できます。 映像資料について、DVDの貸出点数の目標達成率を7.8ポイント上回り、目標を達成できました。 【意見】各資料の所蔵点数を併記するように求めます。DVD資料の収集は、市民の教養、学校教育に資する分野の充実、及び名作の収集などの工夫が必要と考えます。さらに、若者世代はスマートフォン等を使っていますので、視聴覚資料の利用は少ないのではないかと思います。このことの検証に年代別の利用統計をとることが必要で、その結果は視聴覚資料の充実に繋がると考えます。
		2 映像資料の充実	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ニーズにあったDVDの購入に努め、貸出点数を増加させる。 [指標] DVDの貸出点数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度 8,333点	数値	[DVDの貸出点数] 8,982点 【目標達成率】107.8%	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 ー:次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
4 現在の図書館サービスでは十分対応できない人へのサービスの充実を図ります									
		1 多文化サービスの充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> 多文化コーナーの資料数の充実。 [指標] 多文化資料の新規所蔵冊数(寄贈含む) [目標値] 20冊 [参考] 平成25年度 3冊	数値	[多文化資料の新規所蔵冊数] 29冊 【目標達成率】145% <図書館コメント> 主にビジネス及び生活関連の資料を購入し、充実を図った。	A		多文化サービスについて、新規所蔵冊数の目標値(20冊は少ない)に対しては145%の達成率になりました。 「障がい者」サービスについて、事業目標は、対面音訳サービス開始の準備に対して、音訳ボランティアサークルの協力を得て、平成27年度実施スケジュールが作成できました。 来館が困難な人へのサービスの充実について、宅配サービスの目標値を下回りました。 【意見】多文化資料については、在住外国人の多い言語の資料の充実を考えると、英語のほかに、中国語、朝鮮語、スペイン語の資料を収集することが必要と考えます。また、多言語の絵本の収集も多文化資料の充実として考えられます。 「障がい者」サービスについては、録音図書の自館制作を実施することも必要と考えます。 来館が困難な人へのサービスでは、利用可能対象者や利用条件等を広くPRして利用の拡大を図る必要があります。また、現在一人もいない宅配協力員を増やす工夫も必要です。
		2 障害者サービスの充実	拡充	<ul style="list-style-type: none"> 音訳ボランティアサークル「いとでんわ」と対面音訳サービス開始に向けての準備を行う。 	記述	多摩地域公立図書館への実施状況調査、音訳ボランティアサークル「福生いとでんわ」との打ち合わせを4回行い、具体的な実施案及び平成27年度実施スケジュール(案)を作成した。	A	B	
		3 来館が困難な人へのサービスの充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> 宅配サービスの継続 [指標] 宅配サービスの実施件数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度 宅配件数 110件	数値	[宅配サービスの実施件数] 105件 【目標達成率】95.5% <図書館コメント> 高齢者が多いため、利用者の都合により訪問回数が減少した。	A		

注)福生市図書館協議会では、「障害者」を「障がい者」と表記しました。

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標1】市民一人ひとりの個性を大切に、生涯にわたる自主的な学習を支える図書館									
5 市民と市民をつなぐ活動を積極的に行います									
		1 市民文化活動の拠点	拡充	・来館者数を増やす。 [指標] 利用者数(わかたけを除く) [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度 合計 263,638人	数値	[利用者数] 合計 271,201人 【目標達成率】 102.9% <図書館コメント> わかたけ図書館の9ヶ月休館の影響が考えられる。	A		市民文化活動の拠点について、来館者数を増やすという目標は達成率102.9%であり、達成されています。読書会や作者との交流会などの開催について、石井聖岳氏の原画展および交流会を実施し、交流会では50名の参加があり、関心の高さが示されました。
		2 読書会や作者との交流会などの開催	継続	・原画展で作者との交流会を実施する。 [指標] 交流会実施 [参考] 平成25年度 原画展実施	記述	[交流会実施] 石井聖岳交流会参加者数 50名 <図書館コメント> 原画展で作者との交流会(サイン会)を実施した。	A	A	【意見】市民文化活動の拠点については、来館者数の増減だけでは計れない内容を含んでいます。「2読書会や作者との交流会などの開催」とも関連し、市民に開かれた読書会や趣向を凝らした企画展示を開催し市民文化活動の拠点としての役割を担うことで、人と人が本を通じて繋がる機会を提供することができます。ここでは、図書館が積極的にそのような活動を企画実施することが求められます。
6 西多摩の市町村との連携を継続します									
		1 西多摩の図書館との広域利用や昭島市との相互利用の継続	継続	・西多摩との広域利用、昭島市との相互利用の促進を図る。 [指標] 西多摩広域利用と昭島市相互利用の貸出点数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度 西多摩 99,553点 昭島市 29,040点 合計128,593点	数値	[西多摩広域利用と昭島市相互利用の貸出点数] 西多摩 101,005点 昭島市 23,243点 合計 124,248点 【目標達成率】 96.6% <図書館コメント> 昭島市民にとって利便性の高い、わかたけ図書館休館の影響が考えられる。	A	A	西多摩の図書館との広域利用や昭島市との相互利用の継続について、目標値は多少達成されていませんが、実数として西多摩:101,005点、昭島市:23,243点、合計:124,248点は利用効果ありと判断します。このことは福生市の図書館が信頼されていることの証左です。 【意見】ここでは、福生市民が西多摩地区や昭島市の図書館をどれくらい利用しているかという、「逆の数値」を示す必要があると考えます。

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 - :次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館									
7 どこに住んでいても図書館サービスを受けられる体制を目指します									
		1 図書館から離れた地域への対策や利便性を考えた図書館の配置	新規	次年度以降検討			-		
		2 駅などへのブックポストの設置	新規	次年度以降検討			-	-	
		3 福祉バスの停留所を中央図書館付近に設置	新規	次期コース見直し時に要望			-		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標2】市民が利用しやすく快適な空間のある図書館									
8 より利用しやすく快適な図書館を目指します									
		1 読書ができる空間の工夫	継続	・読書空間を配置する。 [指標] わかたけ図書館の読書空間の確保 [参考] 平成25年度 テラス席を設置し、飲食などを可能にした。(わかぎり)	記述	[わかたけ図書館の読書空間の確保] わかたけ会館改修工事で図書室部分を増築し、テーブル・軽読書椅子を12席増設した。また、飲食可能なテラス席を新設した。	A		わかぎり図書館に続きわかたけ図書館の改修では、飲食やグループ学習ができるテラス席と利用者持込みパソコンが使える学習机を新設したことで、利用者の利便性が向上しました。また、福生市公共サイン整備計画に基づいて館内外の案内・掲示の整備を図ったことで、統一的なサインとなり、利用者の利便性が向上しました。 【意見】読書や学習コーナー等施設の利用について、市民にPRして利用の拡大をはかる必要があります。また、新設した設備を利用した市民の反応を聴取してまとめるなど、その利用効果の把握に努める必要もあります。
		2 「読書・学習コーナー」の設置	継続	・読書・学習コーナーを設置する。 [指標] わかたけ図書館の読書・学習空間の確保 [参考] 平成25年度 テラス席などグループで学習が可能な場所を設置した。(わかぎり)	記述	[わかたけ図書館の読書・学習空間の確保] 学習机を4席新設した。また、グループでの学習が可能なテラス席を8席新設した。	A		
		3 分かりやすい案内や掲示の推進	継続	・福生市公共サイン整備計画に基づき館内外の案内・掲示の整備を進める。 [指標] わかたけ図書館内外の案内・掲示の整備	記述	[わかたけ図書館内外の案内・掲示の整備] わかたけ会館改修工事で施設に合った案内・掲示の整備を行った。	A		
		4 中央図書館のエントランスの工夫	継続	次年度以降検討			-		
		5 利用しやすい開館日時	継続	次年度以降検討			-		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本 目標	施 策	事 業	区 分	平成26年度事業目標	指 標	取 組 結 果	自 己 評 価	第 三 者 評 価	第 三 者 評 価 コ メ ン ト (福生市図書館協議会)
【基本目標2】市民が利用しやすい快適な空間のある図書館									
9 より安全で安心して利用できる図書館を目指します									
		1 震災対策を推進	新規	・わかたけ図書館書架の耐震化を図る。 [指 標] わかたけ会館・図書館改修工事の実施	記 述	[わかたけ会館・図書館改修工事の実施] わかたけ会館・図書館改修工事により書架の耐震化を図った。 【工事期間】平成26年7月から平成27年3月 【工事概要】内外装、屋上防水、空調設備改修及びバリアフリー化、環境に配慮した施設改良、図書室増築、書架の耐震化等	A		「震災対策を推進」について、わかたけ図書館書架の耐震化を図ることができ、目標は達成されました。 学習室、児童室、トイレなどの安全確保について、中央図書館では館内チェックリストにより、市民利用者の安全確保に努めていますが、さらに安全を確保するような取組が必要です。
		2 学習室、児童室、トイレなどの安全確保	継続	・館内の安全確保を図る。 [指 標] 中央図書館内の安全確保	記 述	[中央図書館内の安全確保] 随時、館内チェックリストを活用しながら見回りを行った。 開館後年数も経過し、修繕箇所も多く出ているが、引き続き修繕等対応を行うことで、安全確保を継続した。	A		【意見】建築上の安全性だけに限らず、利用者が安心して図書館を利用できるように、死角の多いトイレや2階学習室を安心して利用できる防犯対策も求められます。さらに、利用者が図書館を使用するにあたって不安を感じたことを聴取するような機会を設けることが必要と考えます。例えば、「市民の意見を聴く会」のほかにも「館長への手紙」ボックスを設置して、日常的に利用者・市民の声を聴く工夫が考えられます。図書館危機管理マニュアルを作成し、危機管理研修や訓練も適宜行う必要があります。

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館									
10 暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ図書館を目指します									
		1 相談業務(レファレンス・サービスの充実)	継続	<ul style="list-style-type: none"> レファレンス相談の充実を図る。 [指標] レファレンス相談件数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度 2,439件	数値	[レファレンス相談件数] 2,850件 【目標達成率】116.9% <図書館コメント> カウンターでのクイックレファレンス(読書相談)の把握に努めた。	A		レファレンス相談件数については、クイックレファレンスを把握したことで件数が増加したと考えられます。 市民生活に必要な資料の収集では、指定分野の蔵書受入冊数が達成できませんでした。 ビジネス資料の貸出冊数については、実数とすれば利用があると考えますが、目標値を下回った原因は単に受入冊数との関係だけではないと思われますので、ビジネスの動向にあう内容を充実することも必要です。 ビジネス・しごと支援コーナーについても同様のことが考えられます。 【意見】 受け付けたレファレンス相談に対する質問と回答を集計して「事例集」としてまとめ、市民に公開することが必要と考えます。その際、図書館のホームページだけでなく、印刷物も用意して館内配布をすることも必要です。
		2 市民生活で必要とする資料・情報の収集と提供	継続	<ul style="list-style-type: none"> 「民法」「社会福祉」「教育」「医学」「家政学」「スポーツ」の分野の蔵書を充実させる。 [指標] 指定分野の蔵書の受入冊数 [目標値] 6,700冊 [参考] 平成25年度 6,642冊	数値	[指定分野の蔵書の受入冊数] 6,292冊 【目標達成率】93.9% <図書館コメント> レファレンス資料の充実を図ったため受入冊数が減少した。	B		
		3 起業等の支援	継続	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス・しごと支援コーナーの貸出を増やす。 [指標] ビジネス資料の貸出冊数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度 12,533冊	数値	[ビジネス資料の貸出冊数] 11,033冊 【目標達成率】88.0% <図書館コメント> 中央図書館のビジネスコーナーのレイアウト変更により貸出冊数向上に努めたが、受入冊数減少もあり貸出冊数が減少したと思われる。	B		
		4 就職、転職、職業能力開発等の資料・情報の収集と提供	継続	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス・しごと支援コーナーを充実させる。 [指標] ビジネス・しごと支援コーナー新規受入冊数 [目標値] 新規受入 800冊 [参考] 平成25年度 755冊	数値	[ビジネス・しごと支援コーナー新規受入冊数] 615冊 【目標達成率】76.9% <図書館コメント> レファレンス資料の充実を図ったため受入冊数が減少した。	C		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標3】市民の課題解決に役立つ図書館									
11 情報通信技術を活用し、市民の課題解決に役立つ図書館を目指します									
	1	情報通信技術を活用した図書館サービスの充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> 利用者用インターネット端末の利用向上を図る。 [指標] 利用者用インターネット端末利用件数 [目標値] 前年度と同程度(わかたけ図書館を除く) [参考] 平成25年度 2,733件	数値	[利用者用インターネット端末利用件数] 2,399件 【目標達成率】87.7% <図書館コメント> 家庭のインターネット環境が充実し、スマートフォン等携帯用端末が普及したためと思われる。	B	利用者用インターネット端末の利用件数は、実数で334件(昨年度比)の減少であり、利用向上のための工夫が必要です。地域資料のデジタル化の検討をチラシ・パンフレットを対象にしましたが、取組内容の記述を詳しくする必要があります。今後、地域資料の電子データ化についての具体的な目標値を設定し市民の利便性向上に資することが求められます。商用データベースの利用については、費用対効果を考えて年間21件程度の利用では「もったいない」と言えます。図書館のコメントにあるように、高価なデータベースを「無料」で利用できることなど積極的にPRする必要があります。ホームページについては、更新したことや在架予約の実施の効果もあり195,789件のアクセス数がありました。目標値に対する達成率は123.9%で、成果指標の最終目標(150,000件)をも大幅に上回っています。アクセス件数に限らず、例えば「マイページ」を設定するなど更なるアクセスのアップへとつなげていくことが望まれます。パソコンの利用環境の確保では、指標に対する目標値がありませんが、わかたけ図書館に4席設置し、着実に利用環境を確保しています。今後も引き続き環境の整備を図っていく必要があります。 【意見】 商用データベースの利用件数の目標値が少なすぎます。ビジネス・しごと支援サービスと併せて、利用を大幅に向上させる工夫・PRが必要です。例えば、図書館主催でビジネス支援に関わるデータベース活用講座を開くことが考えられます。また、電子書籍のサービスについても検討が必要と考えます。	
	2	デジタル資料の充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化を図る地域資料を検討する。 	記述	チラシ・パンフレットのデジタル化を図るために内容を確認した。	A		
	3	商用データベースの活用	継続	<ul style="list-style-type: none"> 商用データベース(間蔵Ⅱビジュアル、日経テレコン、官報情報検索サービス)の利用を増やす。 [指標] データベース用パソコン利用件数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度 22件	数値	[データベース用パソコン利用件数] 21件 【目標達成率】95.5% <図書館コメント> データベースの内容や使い方について十分に周知出来ていなかった。今後、職員も含めて使用方法について周知する必要がある。	A		
	4	インターネット講座の開催	新規	次年度以降検討			-		
	5	ホームページの充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを充実させてアクセス数の向上を目指す。 [指標] アクセス件数 [目標値]158,000件 [参考] 平成25年度155,062件	数値	[アクセス件数] 195,789件 【目標達成率】123.9% <図書館コメント> 成果指標値(P19)は達成している。(平成26年度より個別のアクセス件数の合計に変更した。)	A		
	6	パソコン利用環境の確保	継続	<ul style="list-style-type: none"> 利用者がパソコンを利用できる環境を確保する。 [指標] パソコン利用環境の確保 [参考] 利用者持込パソコンの利用可能席数 中央図書館 6席、わかたけ図書館 2席	数値	[パソコン利用環境の確保] わかたけ図書館に4席設置した。	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
12 図書館は市内の各種機関と協働を進めることで、家庭・地域・学校の教育力の向上を支援します									
		1 学校教育への支援を推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> 児童、生徒の調べ学習・自由研究の支援や学校司書と連携し、調べ学習支援および学校への貸出を継続する。 [指標] 実施学校数 [目標値] 前年度と同程度 12校 [参考] 平成25年度 出前ブックトーク4校、出前おはなし会1校、としかん出前おはなし会「ぶっくん」7校	数値	[実施学校数] 15校(出前ブックトーク6校、出前おはなし会2校、としかん出前おはなし会「ぶっくん」7校) 【目標達成率】125% <図書館コメント> 出前ブックトークと出前おはなし会の実施回数が増加した。	A		学校教育への支援では、出前ブックトークや出前おはなし会の実施学校数が増加していますが、さらに目標値を上げる必要があります。児童、生徒の調べ学習・自由研究支援の指標がないので、今後の目標にする必要があります。 学校司書との連携では、推薦図書リストの作成で成果をあげています。 保育所、幼稚園、学童クラブ、児童館などとの連携では、訪問数が増えています。その中でも、幼稚園、児童館への訪問がありませんので、働きかけが必要です。 【意見】 小・中学校に学校司書が配置されたことで、利便性や期待感が高まり、利用が増えています。今後、学校司書と図書館との連携をさらに図っていく必要があります。学校司書と連携し「推薦図書リスト」を作成して評価できますが、リストの配布を早くする(6月初め)ことで、学校図書館でもリストに載った本の準備ができ、読書欲を喚起することができます。と同時に、学校図書館から公共図書館への流れを着実に作るよう望みます。
		2 学校司書と連携し学校図書館の充実	拡充	<ul style="list-style-type: none"> 各学校司書と連携し、小学生向け推薦図書、中高生向け推薦図書を選定する。 [指標] 学校司書と連携し推薦図書リストを作成	記述	[学校司書と連携し推薦図書リストを作成] 各学校司書と連携し、小学生向け推薦図書、中高生向け推薦図書を選定することで、選定の幅が広がった。また、わかたけ会館・図書館のリニューアルに伴い、わかたけ図書館書架の一部を学校図書館で再活用した。(15台)	A	A	
		3 保育所、幼稚園、学童クラブ、児童館などとの連携	継続	<ul style="list-style-type: none"> 保育所施設などへの出前おはなし会を継続して行う。 [指標] 保育所等訪問数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度 計 45回 (子ども家庭支援センター 12回、さくらクラブ 10回、杉ノ子保育園 1回、ちゃいれっく 1回、弥生保育園 1回、加美平保育園 3回、保健センター 16回、出前講座 1回)	数値	[保育所等訪問数] 計 55回 【目標達成率】122.2% (子ども家庭支援センター 12回、さくらクラブ 10回、杉ノ子保育園 1回、ちゃいれっく 1回、加美平保育園 3回、保健センター 21回、出前講座 1回、子育てなんでも相談 1回、わかたけクラブ 5回) <図書館コメント> 実施回数が増加した。	A	A	

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
12 図書館は市内の各種機関と協働を進めることで、家庭・地域・学校の教育力の向上を支援します									
	4	病院との連携	継続	・福生病院4階キッズルームの「みにみにとしよかん」を継続する。 [指標] 福生病院への貸出冊数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度 福生病院団体貸出 303冊	数値	[福生病院への貸出冊数] 福生病院団体貸出 年3回 305冊 【目標達成率】100.6%	A		福生病院4階キッズルームへの団体貸出では、目標値を達成しています。 公民館との共催事業では、2回実施し、市民ボランティアの協力も得られて、充実した事業になっています。
	5	公民館やその利用団体との連携	新規	・公民館との連携による事業を実施する。 [指標] 公民館との共催事業の実施 [目標値] 年1回	数値	[公民館との共催事業] 2回実施 実施場所:福庵 実施内容:「琴と語りのハーモニー」、「バイオリンと語りのひととき」 〈図書館コメント〉 としよかんおはなしボランティア(ポケット☆ポケット、おはなしのもり)の協力を得て、実施した。	A	A	【意見】今後は貸出図書の充実を図る必要があります。
	6	高齢者施設との連携	新規	次年度以降検討			-		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
13 図書館は市民との協働を進めることで、家庭・地域の教育力の向上を支援します									
		1 おはなしボランティアとの協働を推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> おはなしボランティアの協働活動を推進する。 [指標] おはなしボランティアの参加促進 [目標値] ボランティアの団体数の維持 [参考] 平成25年度ボランティア数 3団体 	数値	<ul style="list-style-type: none"> [おはなしボランティアの参加促進] 団体数 4 【目標達成率】133.3% <図書館コメント> 団体数が増加し、4団体となった。 	A	A	<p>おはなしボランティアの参加促進では、4団体になり目標は達成していますが、さらに多くの団体が参加できる工夫が必要と思われます。</p> <p>おはなしボランティアグループとのネットワーク化では、ぶっくんどリーム・ネットワーク福生への援助をおこなっています。</p> <p>【意見】ボランティア団体の中には、図書館からの要請に応えられない小さな団体もあります。そのような団体の把握も必要です。例えば、ボランティア団体へのアンケート調査を行えば、要望等を聞くことができます。また、ボランティア団体への貸出でも「5週間」程度の貸出期間を設けて柔軟に対応するサービスも必要です。</p> <p>「事業1」と「事業2」との関係では、ネットワーク化の推進事業を図書館としてどのように考えるかを明確にして、事業目標を設定する必要があります。</p>
		2 おはなしボランティアグループのネットワーク化を推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ぶっくんどリーム・ネットワーク福生の主催事業を援助する。 [指標] 講演会の援助 [参考] 平成25年度 本は友だち応援隊養成講座・川島隆太講演会、ボランティア講座 2回、延べ参加者 248人 	記述	<ul style="list-style-type: none"> [講演会の援助] ぶっくんどリーム・ネットワーク福生主催の「～おはなしとあそぼう～ マサコとアンのストーリータイム」の実施にあたり、事務局として援助し、会場を提供した。 参加者 81名 	A	A	
		3 視力障害がある人を対象にしたボランティアとの協働を推進	新規	<ul style="list-style-type: none"> ■基本目標1-4-2で回答(p4) 					
		4 宅配サービスを推進	継続	<ul style="list-style-type: none"> ■基本目標1-4-3で回答(p4) 					

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメ ント (福生市図書館協 議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
14 家庭・地域・学校に読書の大切さを発信します									
		1 おはなしボランティアグループと協働で読書の大切さを発信	拡充	・おはなしボランティアグループとの協働での活動を推進する。 [指 標] おはなし会の実施回数 [目 標] 前年度と同程度 [参 考] 平成25年度 おはなし会 76回	数値	[おはなし会の実施回数] 81回 【目標達成率】106.6% 〈図書館コメント〉 おはなしボランティアグループとおはなし会の協働実施回数が増加した。	A		おはなしボランティアグループとの協働では、指標であるおはなし会の実施回数が81回と前年度より増加しています。学校への広報活動の推進については、学校司書と連携して作成した「推薦図書リスト」や「いろは新聞」などを各学校へ配布しています。今後も重要な活動と位置付け発展させる必要があります。
		2 読書に関するグループや事業所などとの連携	新規	次年度以降検討			-		【意見】学校への配布物がどのように活用され、図書館にフィードバックされているのかを検証する必要があります。また、特集(例えば、10代で読みたい本の紹介)を組んで、色々の角度からのリストやチラシの作成を期待します。中高生の感性と自主性を活かした「いろは新聞」が多く愛読され、本離れを防ぐ手だてとなるよう、更なる創意工夫で中高生のニーズをつかんだ情報発信をする必要があります。
		3 学校への広報活動の推進	継続	・学校への広報活動の推進を図る。 [目 標] 図書館事業の広報活動の実施	記述	[図書館事業の広報活動の実施] 学校司書と連携して作成した「小学生向け推薦図書リスト」を市内小学校に、「中学生向け推薦図書リスト(ZANMAI)」や中高生が編集した「いろは新聞」を市内中学校・高等学校にそれぞれ配布した。わかたけ図書館リニューアルオープン、春のわくわくおはなし会のお知らせを福生第五小学校に掲示・配布した。また、ぶっくんどリーム・ネットワーク福生の講演会のポスター・チラシも市内小学校に配布し、学校への広報活動に努めた。	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。ー:次年度以降計画予定。

基本 目標	施 策	事 業	区 分	平成26年度事業目標	指 標	取 組 結 果	自 己 評 価	第 三 者 評 価	第三者評価コメ ント (福生市図書館協 議会)
【基本目標4】家庭・地域・学校の教育力の向上を支え、読書の大切さを発信する図書館									
14 家庭・地域・学校に読書の大切さを発信します									
	4 図書館の利 用を広げるた めの広報活動 の推進	継続	・図書館の広報活動の推進 [指 標] 図書館新着図書案内の発行、HPの更新		記 述	<p>[図書館新着図書案内の発行、HPの更新] 【新着案内発行回数】 中央館 12回(月1回)、わかぎり 12回(月1回)、わかたけ 5回(月2回)、武蔵野台 40回(週1回又は2週間に1回) 【HPのお知らせとイベントカレンダーを随時更新】 【わかたけ図書館リニューアルオープンに向けての広報活動】 ・プレスリリース(リニューアル記念講演会について) ・『春のわくわくおはなし会』のポスター・チラシの配布 (配布先) わかたけ近隣町会(3)、幼稚園・保育園 (4)、児童館(1) 【中央図書館広報活動】 ・『中高生向け推薦図書リストZANMAI』の配布 (配布先) 市内中学・高校、都内各区市町村立図書館 ・『いろは新聞』の配布 (配布先) 市内中学・高校、都内各区市町村立図書館 ・『ぶっくンドリームネットワーク マサコとアンのス ーリータイム』のポスター・チラシの配布 (配布先) 町会・自治会(34)、幼稚園・保育園(17) ・『原画展』のチラシの配布 (配布先) 都内各区市町村立図書館 ・『ちゅうおうとしょかんこどもだより』の配布 (配布先) 保健センター・家庭支援センター・おはなし会 ・『中央図書館おはなし会のチラシ』の配布 (配布先) 保健センター・家庭支援センター・おはなし会</p>	A		<p>図書館の広報活動の推進については、指 標である新着図書案内の発行を、中央図書 館、地域図書館ともに多数発行していま す。また、図書館のホームページのリニュー アルもされて、使いやすさが向上しました。</p> <p>【意見】きめ細かい広報活動の例として、館 内展示しているテーマ図書にポップを付け るなどすることによって、魅力的な展示がで きると考えます。また、実社会との関わり で、タイムリーな企画を時機を逃さず行っ ていくことも必要です。さらに、図書館の広報 活動として必需のものに「図書館便り」(図 書館報)がありますので、発行を要望しま す。</p>

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。ー:次年度以降計画予定。

基本目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己評価	第三者評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標5】地域資料の充実を図り、地域文化の継承と創造に寄与する図書館									
15 デジタル資料を含めた地域資料の収集と提供を進めます									
		1 福生市に関する資料の収集の徹底	継続	・福生市に関する資料を充実させる。 [指標] 福生市に関する資料の所蔵冊数(分館も含む) [目標値] 11,000冊 [参考] 平成25年度所蔵冊数 10,425冊	数値	[福生市に関する資料の所蔵冊数] 10,984冊 【目標達成率】99.9% 〈図書館コメント〉 着実に収集に努めている。	A		地域資料の収集の徹底について、目標値をほぼ達成しています。図書館コメントに「着実に収集に努めている」とありますので、年々地域資料の充実が図られているものと思います。 ホームページ上の地域資料コーナーの充実では、新たに福生に関するテーマを3件追加することができました。今後もさらに充実していく必要があります。 【意見】福生に関する資料でも小学生にも分かりやすい内容・記述の資料を多く収集して、子供たちの利用を図る必要があります。郷土資料室と連携し、子ども向けの地域資料の作成や出版も考えられます。また、各種団体等の発行するリーフレットやパンフレット、福生地域が記載された雑誌の収集にも力を入れて、市民が気軽に手に取れるような配架や展示を工夫することを求めます。
		2 地域に関する資料のデジタル化の推進	継続	■基本目標3-11-2で回答(p10)			A		
		3 地域資料の調査・研究の相談、支援の充実	継続	・図書館HPの地域資料コーナー充実を図るため、福生に関するテーマリストを作成・追加し、公開する。 [指標] 福生に関するテーマリスト追加件数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度追加件数 1件 「ご存知ですか？多摩のおはなし」	数値	[福生に関するテーマリスト追加件数] 3件 「多摩で食す！」 「東京・多摩の祭りと年中行事」 「多摩の歴史・散歩」	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標5】地域資料の充実を図り、地域文化の継承と創造に寄与する図書館									
16 行政機関・議会への資料・情報提供を進めます									
		1 行政機関サービスの充実	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市内貸出サービスを継続して実施する。 [指標] 市内貸出点数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度市内貸出点数 4,140点	数値	[市内貸出点数] 3,179点 【目標達成率】 76.8% <図書館コメント> 市内職員へのPR不足が考えられるため、周知方法を強化する。	C	C	市内への貸出サービスは図書館の機能としても重要と考えます。今回、市内貸出点数が目標値を下回って76.8%となっています。市内職員へのPRを進めるとともに、提供方法のルール化を図ることが必要です。議会図書室との連携・協力では、行政リファレンスサービス件数を指標としていますが、年間10件程度では少なすぎると考えます。 【意見】市内職員、各行政機関、議会等へのPRを進めることが必要です。
		2 議会図書室との連携・協力	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・行政リファレンスサービスを継続して実施する。 [指標] 行政リファレンスの件数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度行政リファレンス件数 9件	数値	[行政リファレンスの件数] 10件 【目標達成率】 111.1% <図書館コメント> 前年度並みを維持した。	A		

福生市立図書館基本計画 点検評価表

【凡例】評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
C:不十分な点や課題も多く計画通りにはいかなかった。 -:次年度以降計画予定。

基本 目標	施策	事業	区分	平成26年度事業目標	指標	取組結果	自己 評価	第三者 評価	第三者評価コメント (福生市図書館協議会)
【基本目標6】長期的な視点にたった図書館運営を行い成長する図書館									
1	「福生市人材育成基本方針」に基づく専門的職員の育成	継続		<ul style="list-style-type: none"> 有資格者の割合の向上、資格取得の援助を図る。 [指標] 有資格者の割合 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度有資格者の割合 52.9% (平成25年4月1日現在:17人中9人)	数値	[有資格者の割合] 70.6% (平成26年4月1日現在:17人中12人) 【目標達成率】133.5% <図書館コメント> 新規に司書資格を保有する職員を3名採用し、配置した。	A	A	専門的職員の育成については、新規に司書資格者3名の採用があり、有資格者の割合を70.6%に引き上げたことは大きな成果であると考えます。 職員の研修参加についても、研修参加件数、人数とも増加しています。職員のスキルアップは大切なことなので、今後も引き続き積極的な研修参加を期待します。 【意見】職員とともに市民サービスの一線に立つ嘱託職員にあっても、同様の研修が保証され、ともにスキルアップできる体制が必要と考えます。事業目標の中に嘱託職員の研修を位置付けることを求めます。
2	職員の内外の研修への参加	継続		<ul style="list-style-type: none"> 図書館関係の研修に積極的に参加する。 [指標] 研修参加件数 [目標値] 前年度と同程度 [参考] 平成25年度研修参加件数15件 参加人数延べ22人	数値	[研修参加件数] 16件(参加人数延べ 39人) 【目標達成率】106.7% <図書館コメント> 文部科学省主催の著作権研修、東京都立図書館主催の研修(児童・レファレンスなど)、多摩地域公立図書館大会等に参加した。	A		
3	図書館運営の自己点検・評価の実施	新規		平成27年度実施予定			-		
4	図書館協議会等による第三者評価の実施	新規		平成27年度実施予定			-		
5	市民への公表	新規		平成27年度実施予定			-		

成果指標

	指 標	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	目 標	目標年度	備 考
1	市民一人当たりの貸出冊数（本・雑誌）	10.8冊	10.8冊	10.0冊					12冊	平成30年度	
2	市民一人当たりの貸出点数（視聴覚）	0.7点	0.74点	0.69点					1.1点	平成30年度	
3	登録者率	23.1%	23.6%	20.4%					30%	平成30年度	
4	大活字本の所蔵冊数	1,370冊	1,395冊	1,395冊					2,000冊	平成30年度	
5	高齢者ボランティアの登録人数 （児童関連を除く）	2人	2人	3人					5人	平成30年度	
6	CDの所蔵点数	8,754枚	8,843枚	8,924枚					11,000枚	平成30年度	
7	DVDの所蔵点数	663枚	748枚	840枚					1,500枚	平成30年度	
8	ビジネス・しごと支援コーナーの貸出冊数	13,085冊	12,533冊	11,033冊					20,000冊	平成30年度	
9	ホームページのアクセス回数	103,000件	155,062件	195,789件					150,000件	平成30年度	平成26年度より個別のアクセス 件数の合計に変更した。
10	学校への調べ学習支援冊数	276冊	455冊	736冊					600冊	平成30年度	
11	福生市に関する図書所蔵数	10,141冊	10,425冊	10,984冊					15,000冊	平成30年度	
12	自己点検・評価	未実施	未実施	未実施					実 施	平成27年度	
13	外部評価	未実施	未実施	未実施					実 施	平成27年度	図書館協議会を年3回から5回 へ
14	市民への公表	未実施	未実施	未実施					実 施	平成27年度	